

2024年度 第2回 運営推進会議 報告書

日時：2025年1月15日（水）14：25～14：45

会場：あっとホームひかわ 食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

介護事業部部長

定期巡回かざぐるま課長

介護事務

司会： 書記：

議事

I、自己紹介

II、事業活動報告

- ① 利用状況報告
- ② 事例報告
- ③ 残されている課題について
- ④ 質の向上にむけて
- ⑤ 苦情、アクシデント等

III、質疑応答

（問）薬の服用を写真で撮ったりした後、どのようにして職員間で情報共有されていますか？

（答）訪問記録をタブレットにしており、タブレットで写真を撮影し、記録を残しています。訪問前にヘルパーが確認し、共有しています。

（問）最初の訪問サービスの受け口は何でしたか？

（答）住宅の入居申し込みからでした。話を聞きながらケアマネジャーさんを通し

て、訪問介護から開始しました。クーラーは付いてたが、ちゃんちゃんこを着ておられる等、色々な課題が発覚し、金銭面も考慮しながら介入することになりました。

(問) 残金の管理ほどの様にされていますか？

(答) 残りの金額は、出納帳で確認をし、息子様に早めに入金をお願いしています。

(問) 要介護度はどんな風に違うのか分かりません。ご主人さまは、要介護度はありますか？

(答) ご主人様は、認定をまだ受けていらっしゃらないです。訪問時には声をかけています。

(問) 地域の方とホームの方の割合は？

(答) 今、地域の方は3名です。そのほかの利用者様は住宅入居様です。

(問) 15分程度の距離ですか？

(答) この方は、近いです。コールがあつて、すぐに向かえる距離になります。

IV、その他

・自宅で看てもらえると、今までの生活リズムが崩れることなく生活できていいと思います。